

シンポジウム 加藤邦男の建築世界

2019年3月に他界された加藤邦男先生は、建築家、研究者、教育者として数多くの業績を残されました。このシンポジウムでは、先生の仕事を振り返りながら、これからの建築論の新しい展開を考えます。あわせて同日、先生の代表作「積水化学工業 京都研究所」の見学会も開催いたします。

2020年3月27日（金） 13:30－17:30

楽友会館 2階 会議・講演室

〈主催〉建築論研究会運営委員会

[プログラム]

第1部 13:40－14:20

竹山聖（京都大学） | ヴァレリー「エウパリノス」について

マルク・ブルディエ（国立建築大学パリ＝ラ・ヴィレット校）

| 日仏交流について（フランスからのメッセージ）

○コメント | ブノワ・ジャケ（フランス国立極東学院）

第2部 14:30－15:45

田崎祐生（武庫川女子大学） | ゲニウス・ロキについて

熊澤栄二（石川工業高等専門学校） | 祭礼と景観

松本裕（大阪産業大学） | 都市史研究について

○コメント | 水上優（兵庫県立大学）

第3部 16:00－17:15

ニコラ・フィエヴェ（国立高等実習院） | 建築史研究について

千代章一郎（島根大学） | ル・コルビュジエ研究について

田路貴浩（京都大学） | 森田慶一研究 ― 建築論のリノベーション

○コメント | 西村謙司（日本文理大学）

[見学会]

時間：10:00－11:30

場所：積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー 京都研究所
（京都市南区上鳥羽上調子町 2-2）

[懇親会]

時間：18:00－20:00

場所：楽友会館 1階 近衛 Latin

加藤邦男先生 略歴

- 1935年 大阪生まれ
- 1958年 京都大学工学部建築学科卒業
- 1959年 フランス国立美術学校建築学科に留学
- 1962年 ミッシェル・エコシャール都市建築設計事務所 都市計画部門主任
- 1964年 京都大学工学部 建築学科 助手
- 1984年 日本建築学会賞（論文）
- 1990年 京都大学工学部 建築学科 教授
- 1995年－1996年 日本建築学会近畿支部長
- 1999年 京都大学退官、京都大学名誉教授
- 1999年－2002年 大阪産業大学教授
- 2003年－2017年 一般財団法人 建築研究協会代表理事
- 2016年 日本建築学会名誉会員
- 2016年 レジオン・ドヌール勲章シュバリエ受章
- 2019年 逝去（3月31日）

建築作品

- 1966年 関西学院中等部矢内記念館
- 1967年 西宮市民会館
- 1970年 日本万国博覧会基幹施設
- 1977年－1982年 石川県立高松病院
- 1983年 舞鶴市総合文化会館
- 1988年 舞鶴市引揚記念館
- 1989年 舞鶴市斎場
- 1991年 積水化学工業京都技術センター
- 1992年 関西日仏交流会館（ヴィラ九条山）
- 1997年 名古屋芸術大学美術学部絵画棟
- 2001年 光愛病院

著書

- 『フランスの都市計画』鹿島出版会、1965年
- 『ヴァレリーの建築論』鹿島出版会、1979年
- 『新建築学大系6 建築造形論』（共著）彰国社、1985年

訳書

- ノルベルグ＝シュルツ 『実存・空間・建築』鹿島研究所出版会、1973年
- ノルベルグ＝シュルツ 『ゲニウス・ロキ』（共訳）住まいの図書館出版局、1994年
- 『ル・コルビュジエ事典』（監訳）、中央公論美術出版、2007年